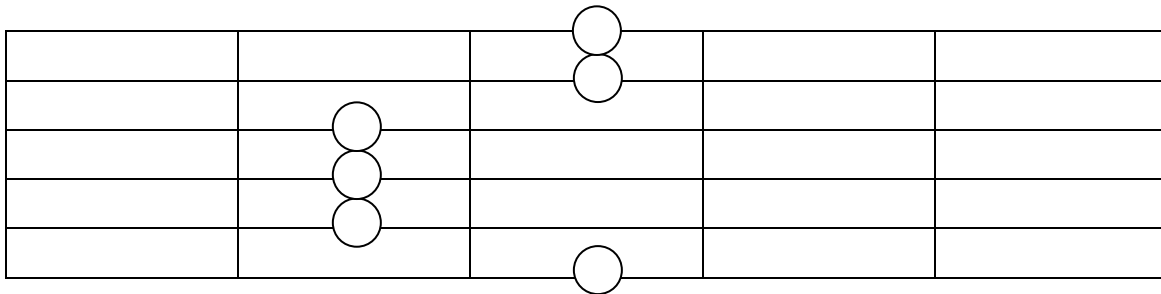


Eマイナーペンタトニックの5ポジション+ブルーノート

f = フレット 1番上の横線が1弦 その下が2弦、そのまた下が3弦…4弦…となります。

○は押さえるフレットです（1度に全て押さえるということではありません。）

●ポジション1



1 f

2 f

3 f

4 f

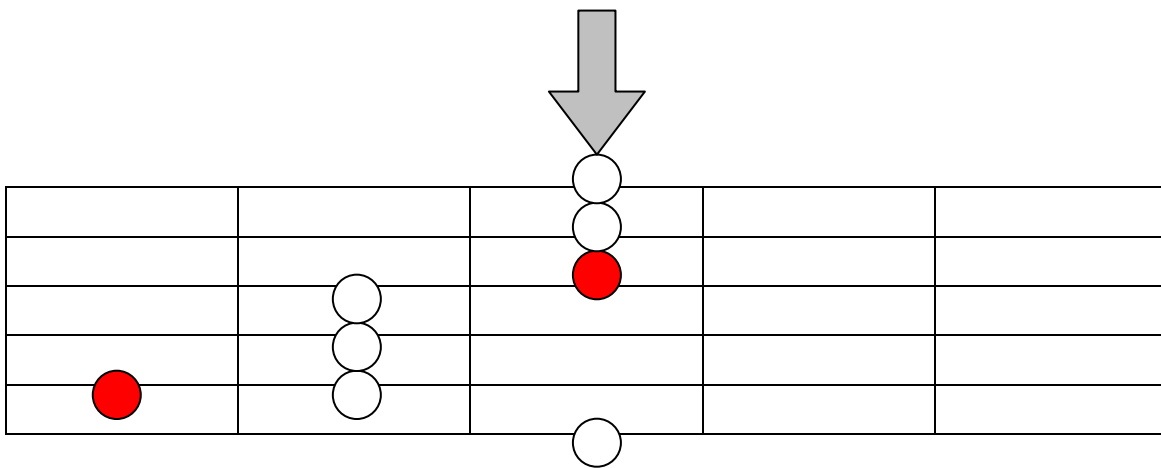
↑の図は『Aマイナーペンタトニックスケールの“ポジション1”』を、『その形のまま』

『5フレット下にずらした』ものです。そして全ての弦で開放弦が使えます！

※Aマイナーペンタで言うと、5フレットを押さえていた位置が

Eマイナーペンタでは、ギターのナット部分になりますよね。つまり開放弦を鳴らせるという訳です。

さらに『ブルーノート』と呼ばれる音を足してみます…



1 f

2 f

3 f

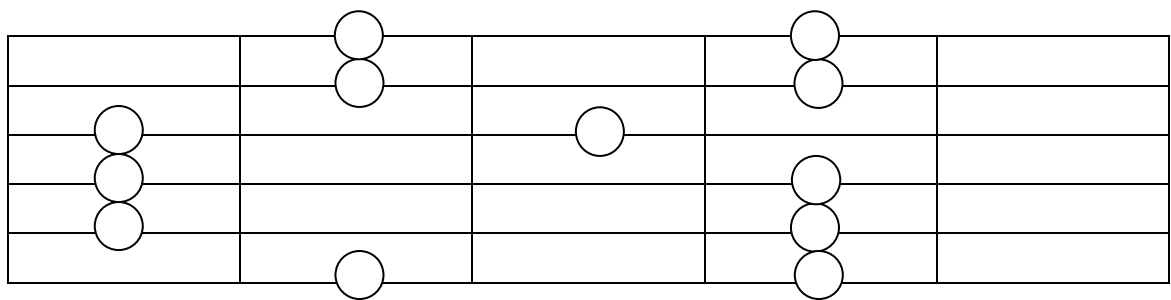
4 f

赤丸が『ブルーノート』の位置です。

これもAマイナーペンタトニックのブルーノートを5フレット下にずらしただけです。

次にポジション2です↓

●ポジション2



2 f

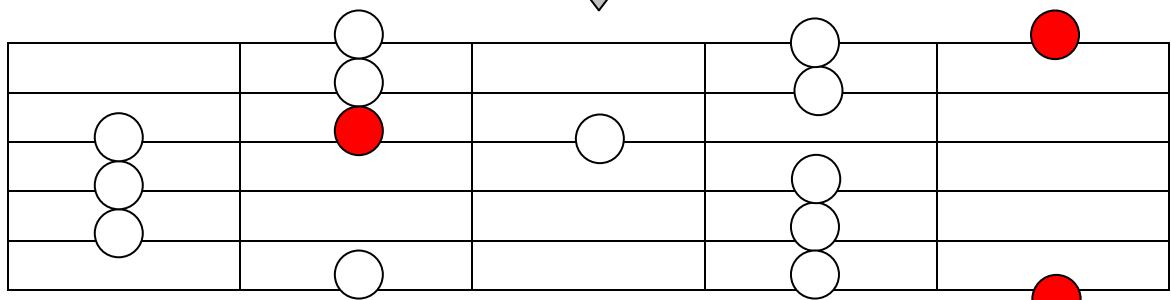
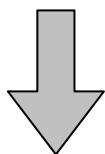
3 f

4 f

5 f

6 f

↑の図も同様に『Aマイナーペンタトニックスケール“ポジション2”』をその形のまま、5フレット下にずらしたものです。さらにブルーノートを足します。



2 f

3 f

4 f

5 f

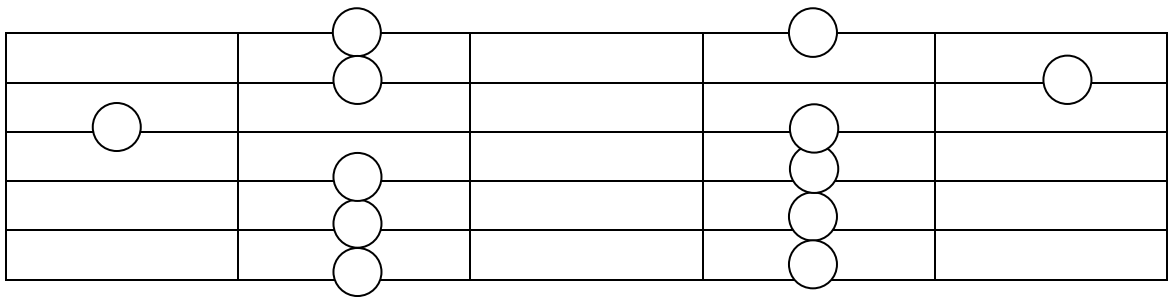
6 f

赤丸がブルーノートです。

ポジション1のブルーノートも1個ダブってますよね(3弦3fです。)

次にポジション3です↓

●ポジション3



4 f

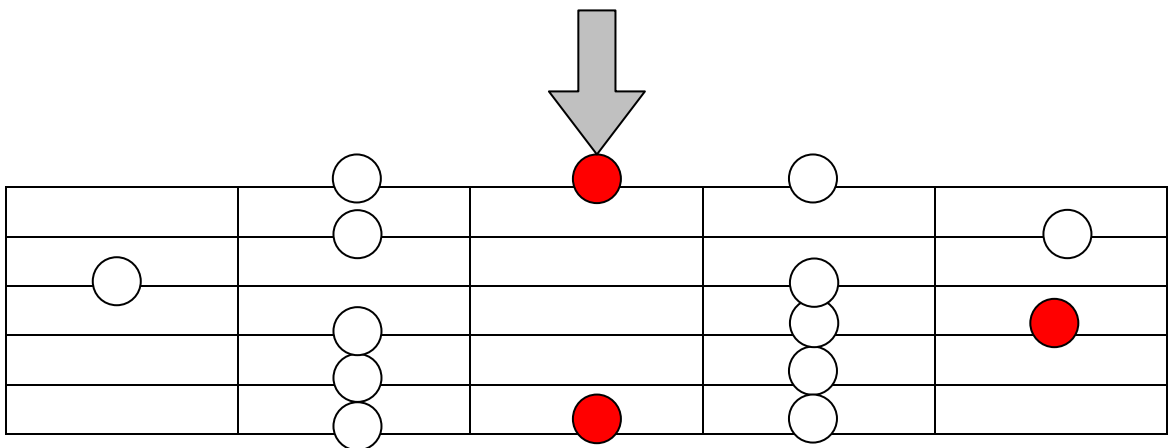
5 f

6 f

7 f

8 f

↑の図も同様に『Aマイナーペンタトニックスケール“ポジション3”』をその形のまま、5フレット下にずらしたものです。さらにブルーノートを足します。



4 f

5 f

6 f

7 f

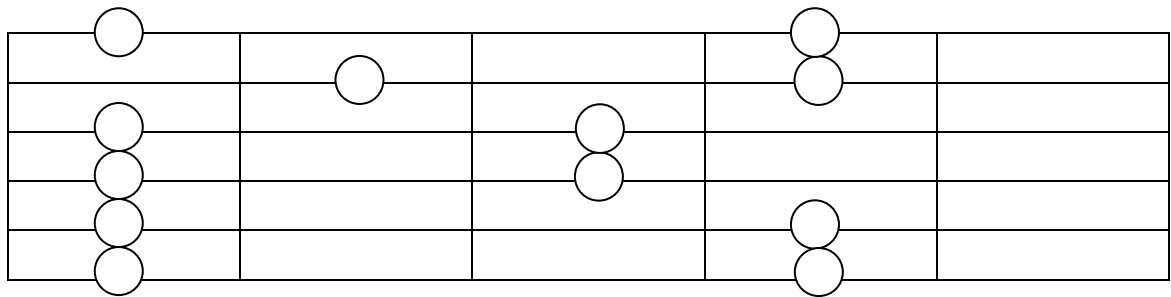
8 f

赤丸がブルーノートです。

ポジション2示したブルーノートと2つダブってます(1弦6 fと6弦6 F)。

次にポジション4です↓

●ポジション4



7 f

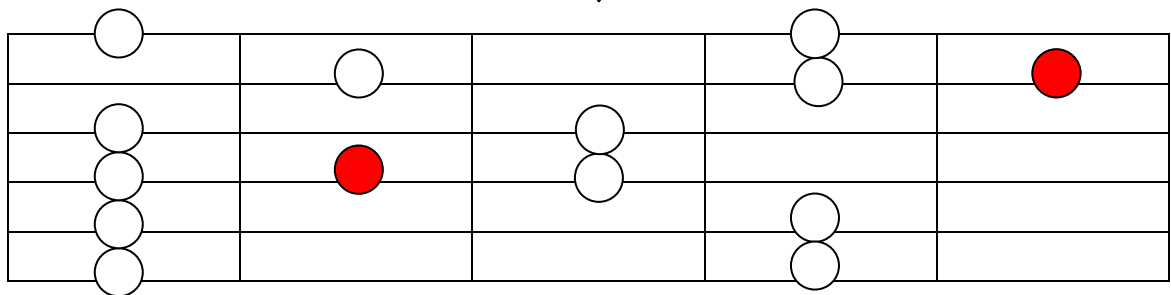
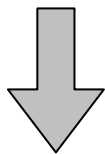
8 f

9 f

10 f

11 f

↑の図も同様に『Aマイナーペンタトニックスケール“ポジション4”』をその形のまま、5フレット下にずらしたものです。さらにブルーノートを足します。



7 f

8 f

9 f

10 f

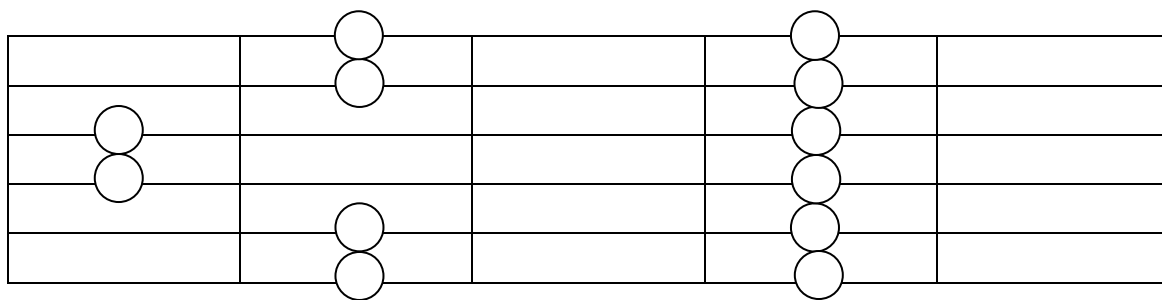
11 f

赤丸がブルーノートです。

ポジション3で示したブルーノートと1つダブってます(4弦8f)。

次にポジション5です↓

●ポジション5



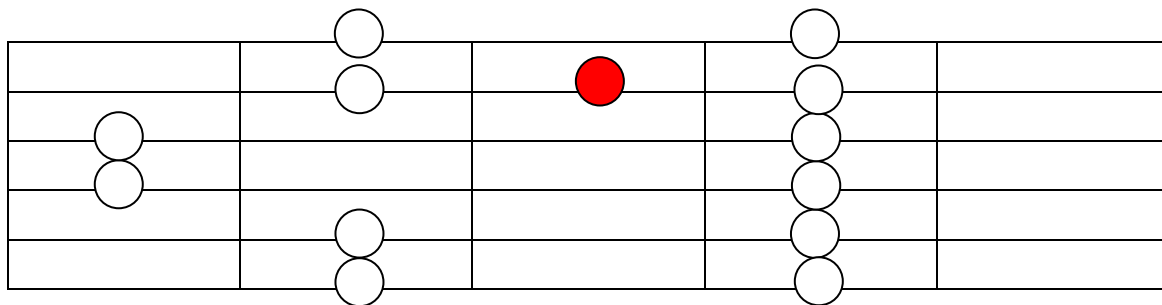
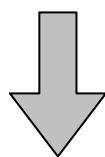
9 f

10 f

11 f

12 f

↑の図も同様に『Aマイナーペンタトニックスケール“ポジション5”』をその形のまま、5フレット下にずらしたものです。さらにブルーノートを足します。



9 f

10 f

11 f

12 f

赤丸がブルーノートです。

ポジション4で示したブルーノートとダブってます(2弦11f)

以上がEマイナーペンタトニックスケールの5ポジションです。

Aマイナーペンタトニックスケールを覚えてしまっていれば、すんなり入っていきます。

Eマイナーペンタも、ロックでは本当に良く使われます。

焦らなくて良いので、このEマイナーペンタも完璧に覚えていきましょう。

さらにアドリブのコツが分かってくると思います。

頑張りましょう♪

エレきち